

2022年10月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

10月の「生活自由度」は62.6点と2か月連続で増加。 「不安」はまだ残る中、「行動の抑制」は引き続き緩む

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2022年10月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は10月3~6日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】全国の感染者数は8月下旬に減少に転じ、9月に入っても減少が続きました。9月初旬には週平均で1日あたり10万人超だった感染者数が、調査直前の10月初旬には4万人をきるところまで減少しています。9月7日からはコロナの療養期間が短縮され、9月20日にはオミクロン株に対応したワクチン接種の開始、9月26日からは全国で患者の全数把握の簡略化も決定、インバウンドの解禁・緩和の議論も進められるなど、社会活動を推進する様々な施策が打ち始められている中での調査です。

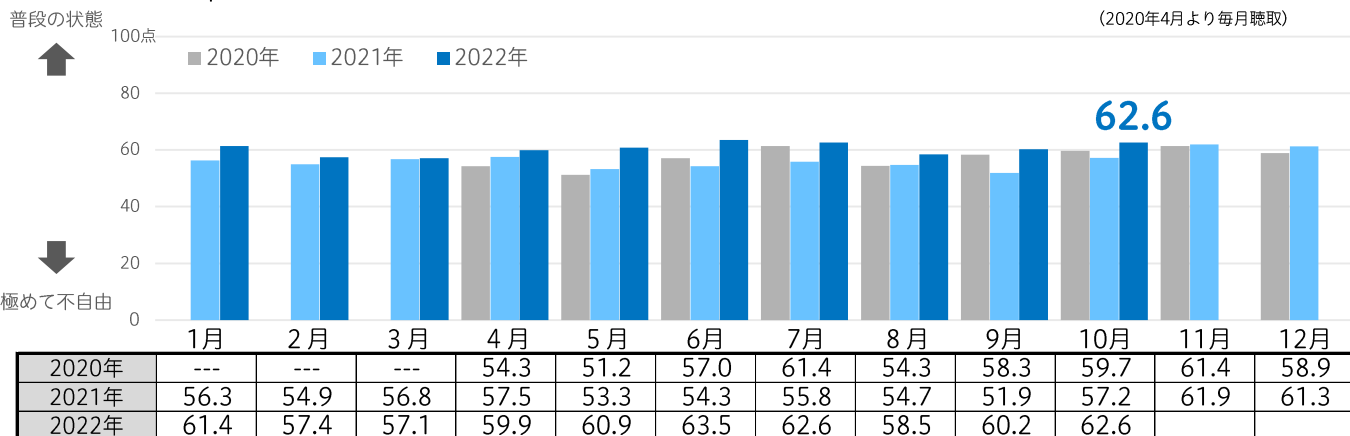
新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

2022年10月は、62.6点

前月差
+2.4pt

前年同月差
+5.4pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2022年10月は62.6点となりました。先月からは2.4pt増となり、2か月連続で増加しています。なお前年同月との比較では5.4pt増となっています。



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は前月と比べて、「経済の停滞」(75.5%、3.7pt増)、「海外の情勢」(70.9%、3.0pt増)、「行政の対応」(69.8%、2.7pt増)が増加。【行動の抑制度】は前月から全項目で減少。「不要不急の買い物」(48.5%、8.8pt減)、「不要不急の外出」(53.8%、7.8pt減)、「旅行・レジャー」(58.5%、6.0pt減)が5pt以上減少しました。【行動の実施度】では前月に比べて、「家の中でできる娯楽」(51.7%、4.8pt減)、「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(50.6%、3.2pt減)、「テレワーク※有職者ベース」(26.4%、2.9pt減)などが減少しています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	経済の停滞	75.5%	+ 3.7pt	+ 3.0pt
	海外の情勢	70.9%	+ 3.0pt	+ 13.4pt
	行政の対応	69.8%	+ 2.7pt	- 0.4pt
【行動の抑制度】 控えている行動	不要不急の買い物	48.5%	- 8.8pt	- 23.3pt
	不要不急の外出	53.8%	- 7.8pt	- 26.1pt
	旅行・レジャー	58.5%	- 6.0pt	- 25.1pt
【行動の実施度】 行っている行動	家の中でできる娯楽	51.7%	- 4.8pt	- 18.1pt
	混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	50.6%	- 3.2pt	- 10.0pt
	テレワーク※有職者ベース	26.4%	- 2.9pt	- 6.9pt

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

10月の「生活自由度」は62.6点と2か月連続で増加

全国の新規感染者数は9月上旬には1週間平均で1日10万人超だったものが調査直前の10月初旬には4万人にまで減少。療養期間の短縮やオミクロン株対応のワクチン接種の開始、インバウンド解禁の検討など社会活動を推進する施策が進められる中で、生活自由度は2か月連続で増加しました。

回答理由からは、感染対策をしながら行動し生活を楽しめているとの声の一方、不安や迷い、不自由さを訴える声も

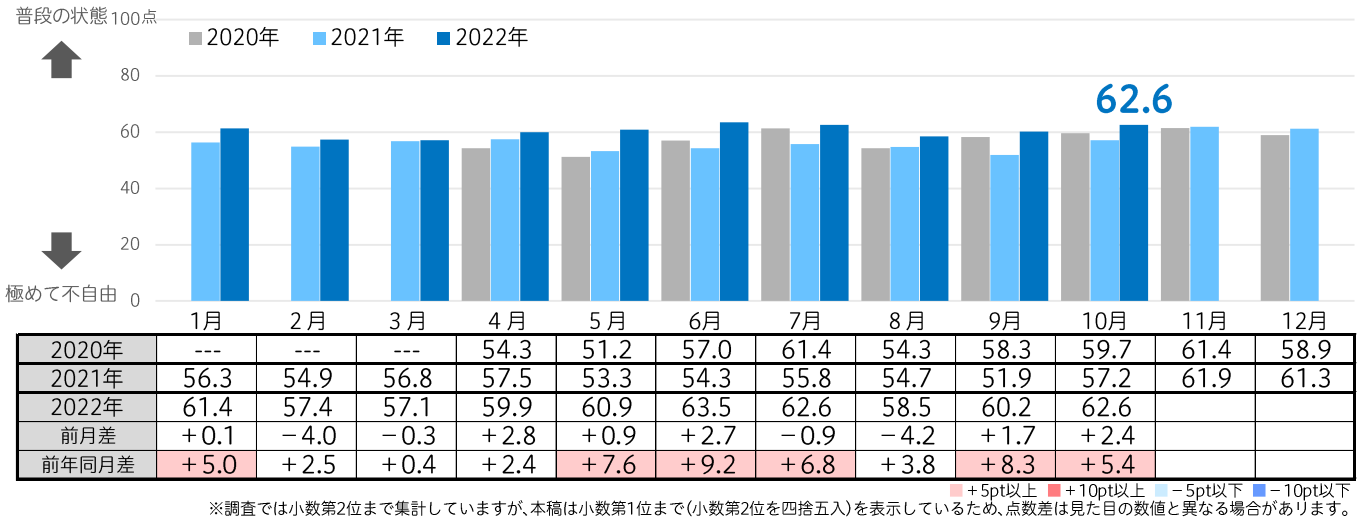
生活自由度「高」:「去年までと比べて行動制限も緩和され、気にせず出歩いている」「多少不自由だが9割は戻った」「感染対策をしながら、生活を楽しんでいる」といった回答がみられます。遠方の実家から「そろそろ来ていいよ」と声がかかるなど、行動の容認や広がりが見られます。

生活自由度「中」:「少しずつコロナが終息している」感覚もあり、「気をつけながらであれば行動はできる」ようになったものの、もし感染したら「仕事を休まないといけない」といった不安や、「ワクチンの4回目は打つべきか」など迷いの声もあがっています。

生活自由度「低」:通勤や勤務中のマスク着用で「むしろ仕事にストレスを感じる」「仕事や持病の診察にも支障がある」、医療や福祉の現場では「マスク越しの会話が不便」、映像制作を専攻する大学生からは「リアルな場での行動に制約がある」など、不自由さは継続しているとの声があります。

■ 生活自由度

(単位：点 / 差分：pt)



■ 生活自由度の理由(一部抜粋)

高 (61点以上)	去年くらいまでは行動制限もあり不自由だったが、今ではコロナ前と変わらず、気にせずに出歩いている。	100点	22歳女性・大阪府
	まだ多少の不自由さはあるが、感染拡大前に9割は戻った感じだから。	90点	39歳男性・大阪府
	できる感染対策をしながら、密を避けた外出や買い物・運動を楽しんでいる。特に不便さは感じておらず、現状に満足している。	90点	38歳女性・神奈川県
	以前は外出自体をなるべくしないようにしていたが、今は、あまり混んでいるところは極力控え、感染対策は以前と変わらず行っただけで外出する、といったスタンスに変わりつつあります。	70点	46歳女性・愛知県
	以前よりも行動制限も緩和されて、不自由を感じずに行動できている。特に母のいる長野県の実家の嫁さんから、今年あたりからそろそろ遊びにおいでとってくれるようになりました。	65点	48歳男性・東京都
中 (41~60点)	少しずつコロナが終息してきているから。	60点	26歳男性・大阪府
	まだまだ感染に気をつけたいといけないことが多いが、ワクチン接種もしたし、自身の行動に気をつけていれば不自由は少なくなってきたと思う。	60点	47歳男性・大阪府
	少しずつ感染者は減少しており、感染対策が整った場所や、信頼している人同士で少人数ならば外出をしようと思っている。しかし、感染したら仕事を休まなければならない状況にあるため、完全に自由とはいえないから。	60点	56歳女性・神奈川県
	時短営業で、外でただただできる場所が減ってしまったから。人が密集している場所はもちろんのこと、同じところにとどまっているのも不安。ここぞというとき以外、飲食店への入店もしがたい。コロナ以前は毎週だったゲームセンター通いもやめてしまった。	60点	33歳女性・神奈川県
	ワクチンは3回接種していますが、4回目をどうしよう。もういいんじゃないかと、タダのうちに打っておいた方がいいよとか…。感染者数が減ってきており、法事には行く予定です。新幹線に乗るのは3年ぶりに近い。	50点	67歳女性・愛知県
低 (40点以下)	普段の生活でもマスクを着用して店舗へ入るなど若干のストレスを感じるが、最もストレスを感じるのは仕事。通勤の行き帰り、仕事でのマスク、フェイスガード着用など、ストレスが蓄積されていると感じる。	40点	57歳男性・大阪府
	家族感染を防ぐため仕事を辞めたこと。持病の定期受診がままならず、かかりつけ医で診てもらいたい処方してもらおうことになったが、適切な対応ができていないため非常に不安。外食、ショッピング、コンサートに行きたくても我慢していること。資格試験のため、勉強強したにも関わらず、受験10日ほど前から第7波で感染者が急増し、受験場での感染をおそれ見送ったこと。非常に残念。	20点	59歳女性・埼玉県
	もともと外出や旅行が好きでよく出掛けていたが、コロナの影響で職場でも県外に出るときは社長の許可が必要となり、好きなことができず、不自由な思いをしている。県内であっても観光地に行く場合は許可が必要。	20点	30歳女性・岐阜県
	医療、福祉の現場において、体が不自由な方、耳の不自由な方への対応や言語でのコミュニケーションのとき、マスクを着用するとお互いに非常にたくさんの不便が出てくる。	15点	44歳女性・大阪府
	大学では映像の撮影を専攻し、作品を作るためにロケを行うのですが、学生の撮影となるとできなくなったりする。また、撮影専攻の学生は大学にわざわざ別でお金を払っているのに、コロナの影響で機材や場所の提供が一切なく、無駄になっただけとなった。	0点	23歳男性・東京都

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】は前月と比べて増加した項目が多い

前月比較では、「経済の停滞」(75.5%、3.7pt増)、「海外の情勢」(70.9%、3.0pt増)、「行政の対応」(69.8%、2.7pt増)が増加。

前年同月比較では、増加では「海外の情勢」(70.9%、13.4pt増)*、減少では「人づきあいの変化」(38.1%、6.1pt減)などが目立ちます。

【行動の抑制度】は前月と比べて全項目で減少

*注:「海外の情勢」の前年同月からの増加(13.4pt増)には、ロシアのウクライナ侵攻の影響が考えられます。

前月比較では、「不要不急の買い物」(48.5%、8.8pt減)、「不要不急の外出」(53.8%、7.8pt減)、「旅行・レジャー」(58.5%、6.0pt減)が5pt以上減少。

前年同月比較では、「外食」(50.9%、27.5pt減)「不要不急の外出」(53.8%、26.1pt減)をはじめ、多くの項目が20pt以上減少しています。

【行動の実施度】では、感染リスクを回避する行動が前月から減少

前月比較では、「家の中でできる娯楽」(51.7%、4.8pt減)、「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(50.6%、3.2pt減)、などが減少。

前年同月比較では、「家の中でできる娯楽」(51.7%、18.1pt減)、「インターネット通販や出前の利用」(35.6%、10.9pt減)などが大きく減少しました。

収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「投資や資産運用」(+9.3pt)、「自分で料理する」(+9.0pt)などとなっています。

■ 生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安				
	22年8月	22年9月	22年10月	前月差	前年同月差
経済の停滞	73.5	71.8	75.5	+3.7	+3.0
海外の情勢	72.5	67.9	70.9	+3.0	+13.4
行政の対応	69.5	67.1	69.8	+2.7	-0.4
自分や家族の健康	66.1	62.3	62.7	+0.4	-5.3
自分や家族の仕事・収入	58.1	59.5	58.7	-0.8	+1.6
情報の不足や不確かさ	57.9	56.3	58.1	+1.8	+0.4
人づきあいの変化	39.6	38.9	38.1	-0.8	-6.1

(単位: % / 差分: pt)

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差(最新月)
	22年8月	22年9月	22年10月	前月差	前年同月差	22年8月	22年9月	22年10月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ(握手やハグなど)	71.5	68.7	66.1	-2.6	-11.7	59.5	56.0	58.3	+2.3	-6.6	-7.8
旅行・レジャー	67.2	64.5	58.5	-6.0	-25.1	45.3	45.9	44.2	-1.7	-9.9	-14.3
交友・交際	65.5	60.1	55.5	-4.6	-23.0	49.1	48.2	46.0	-2.2	-9.6	-9.5
体験型エンタメ(ライブ・観劇・映画鑑賞など)	62.9	58.1	54.1	-4.0	-22.1	47.3	45.8	45.2	-0.6	-8.8	-8.9
不要不急の外出	66.5	61.6	53.8	-7.8	-26.1	53.6	53.5	50.2	-3.3	-9.5	-3.6
外食	61.5	55.7	50.9	-4.8	-27.5	45.7	46.9	44.9	-2.0	-9.2	-6.0
不要不急の買い物	58.2	57.3	48.5	-8.8	-23.3	50.3	49.7	47.1	-2.6	-9.4	-1.4

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差(最新月)
	22年8月	22年9月	22年10月	前月差	前年同月差	22年8月	22年9月	22年10月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底(マスク着用や手洗いなど)	88.1	86.4	86.3	-0.1	-5.6	77.4	74.9	76.7	+1.8	-8.3	-9.6
十分な運動・栄養・睡眠	74.7	71.8	75.2	+3.4	+2.4	80.3	78.3	79.7	+1.4	-1.0	+4.5
感染対策商品や日用品の備蓄	61.9	64.1	62.9	-1.2	-5.6	65.3	64.3	62.5	-1.8	-5.4	-0.4
キャッシュレスでの支払い	63.3	60.4	62.9	+2.5	+0.3	66.8	62.1	65.5	+3.4	+0.1	+2.6
家の中でできる娯楽	58.9	56.5	51.7	-4.8	-18.1	54.2	50.7	50.3	-0.4	-7.2	-1.4
自分で料理する	53.1	50.8	51.3	+0.5	-5.9	60.1	58.6	60.3	+1.7	-1.6	+9.0
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	54.5	53.8	50.6	-3.2	-10.0	54.4	49.3	49.0	-0.3	-5.7	-1.6
感染対策を徹底している店や施設の利用	54.9	53.0	50.3	-2.7	-5.6	53.2	49.5	50.9	+1.4	-6.1	+0.6
ストリーミングサービスの利用(動画や音楽など)	44.3	44.9	44.1	-0.8	-5.0	48.3	48.2	47.7	-0.5	-0.2	+3.6
スマホやパソコンなどでのゲーム	44.3	42.7	43.7	+1.0	-5.8	44.5	42.8	42.9	+0.1	-4.4	-0.8
人が密集しない屋外でのレジャー	41.8	40.9	43.6	+2.7	+1.7	49.5	46.0	49.2	+3.2	-3.0	+5.6
自家用車での移動	45.7	42.7	42.9	+0.2	-4.3	44.3	43.5	45.0	+1.5	-0.7	+2.1
家の中でできる運動	42.6	42.4	41.3	-1.1	-3.8	50.4	46.0	46.7	+0.7	-3.6	+5.4
人が密集しない屋外での運動	38.0	37.9	40.1	+2.2	-0.4	44.9	44.1	44.9	+0.8	-1.9	+4.8
SNSの閲覧・投稿	40.0	40.4	39.4	-1.0	+0.3	48.3	48.1	46.7	-1.4	+0.5	+7.3
インターネット通販や出前の利用	39.7	36.1	35.6	-0.5	-10.9	42.8	39.7	39.4	-0.3	-4.9	+3.8
時差通勤・時差通学	34.9	33.1	32.5	-0.6	-3.6	37.3	35.3	37.7	+2.4	+0.3	+5.2
家の環境充実(通信環境整備や家電購入など)	29.2	30.2	29.6	-0.6	-0.3	37.9	35.1	36.0	+0.9	+0.2	+6.4
副業(検討含む)	28.7	28.9	28.5	-0.4	-1.0	32.0	29.7	28.9	-0.8	-4.2	+0.4
投資や資産運用	26.8	27.5	27.7	+0.2	+2.3	36.6	35.3	37.0	+1.7	+0.9	+9.3
テレワーク ※有職者ベース	30.1	29.3	26.4	-2.9	-6.9	31.1	30.3	29.6	-0.7	-3.1	+3.2
モノを手作りする(手芸、リフォーム、DIYなど)	26.5	25.8	25.8	±0.0	-1.2	33.3	31.1	31.5	+0.4	-1.1	+5.7
普段より少し良いものを買う	27.0	25.7	25.7	±0.0	-3.4	33.3	29.4	30.1	+0.7	-0.2	+4.4
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	24.0	24.3	24.8	+0.5	+2.0	28.9	28.9	28.8	-0.1	+3.1	+4.0
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	25.0	24.0	24.3	+0.3	+0.8	29.5	27.6	29.5	+1.9	+2.1	+5.2
就職・転職・起業(検討含む)	24.8	24.1	23.2	-0.9	-0.7	26.9	28.3	26.7	-1.6	-0.2	+3.5
オンライン学習	20.4	20.0	18.9	-1.1	-0.2	26.3	24.0	24.2	+0.2	+0.9	+5.3
お店・団体の支援	18.8	18.9	18.5	-0.4	+1.7	22.0	20.1	20.4	+0.3	-1.0	+1.9
オンラインでの飲み会・食事会	16.9	17.5	17.1	-0.4	-0.6	20.3	19.0	17.2	-1.8	-1.1	+0.1
転居やリフォーム、複数拠点での生活(検討含む)	16.8	17.1	17.0	-0.1	+1.0	22.5	21.6	20.5	-1.1	+0.2	+3.5

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、
感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、
あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動【実態】 ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

【※有職者】
2022年10月 :1,077人
2022年 9月 :1,051人
2022年 8月 :1,075人

新型コロナウイルス収束後の行動【予想】 ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者 20~69歳の男女
対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数 合計1,500人 (単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	131	143	180	172	127	753
女性	128	140	178	169	132	747
合計	259	283	358	341	259	1,500

調査方法 インターネット調査
調査時期 2022年10月3日(月)~6日(木)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、東京都とも10月10日時点)

<2020年>	<2021年>	<2022年>
4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで) 緊急事態宣言を全国に拡大	8月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録 緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長	
5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都) 1都3県含む47都道府県すべてで解除	9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も 重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える	
6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動	10月 緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30) 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く	
9月 東京でGoToトラベルの予約開始	11月 大規模イベントの上限制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店への自粛要請の緩和	
10月 GoToイートの予約開始	12月 下旬まで感染者数は低位推移 下旬に大阪や東京でオミクロン株の市中感染	
11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明 東京や大阪含む10都道府県でGoToイート中断		
12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)		
<2021年>		
1月 緊急事態宣言が再発出(1都3県、後11都府県に拡大)	1月 1日9万人超など全国感染者数が急増 自宅療養者、救急搬送困難事例も大きく増加 「まん延防止等重点措置」の適用自治体は拡大を続け、月末には34都府県に	
2月 緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定	2月 全国感染者数が1日10万人突破後、減少傾向に 北京冬季五輪・パラリンピック開幕 まん延防止等重点措置、5県では2/20をもって解除、18都道府県では3/21まで延長決定	
3月 大阪・兵庫・京都で同宣言解除、3/21に1都3県解除	3月 全国の新規感染者数、初旬に拡大傾向をみせるも、その後は減少傾向へ	
4月 まん延防止等重点措置の適用が順次拡大 緊急事態宣言、東京・大阪・兵庫・京都に、3度目の発出	4月 新規感染者は減少傾向 厚労省、マスク着用の考え方を発表(5/20)	
5月 緊急事態宣言の継続、拡大、延長(愛知・福岡追加) 高齢者へのワクチン接種進む 大規模接種センター開設(東京・大阪)	5月 6/13の感染者数、東京都958人、全国6,005人 7/2には5日連続で全国2万人超	
6月 緊急事態宣言、沖縄を除き解除 7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行、3県は継続	6月 新規感染者数が全国で初めて20万人超、東京都で4万人超 「第7波」が猛威	
7月 緊急事態宣言、東京(4度目)、首都圏3県・大阪に拡大 東京五輪開幕 北海道・石川・京都・兵庫・福岡にまん延防止等重点措置	7月 全国新規感染者数は20万人超の日が下旬まで多く見られた後、下旬になり減少傾向へ	
<備考>	[今回の調査時点までの詳細]	
	9月上旬 全国新規感染者数は1週間平均で1日あたり10万人前後	
	9月7日 コロナリ患者の療養期間短縮(有症状者は10日→7日へ、無症状者は7日→5日へ)	
	9月20日 オミクロン株対応のワクチン接種開始	
	9月26日 リ患者の全数把握の簡略化が全国で開始	
	10月上旬 全国新規感染者数の減少は続き、1週間平均で1日あたり4万人を切る日も	

・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。

・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社博報堂 広報室 山田・玉 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp